

# カリフォルニアの海洋生物への悪影響と大量座礁

荒井 恵

カリフォルニアには、数多くのビーチがあり、数多くの海洋生物たちが生息しています。しかし、最近ここカリフォルニアで、多くの海洋生物が海岸に座礁しているそうです。その原因として次の3つが考えられます。

1つは、気候変動です。

トーランスを訪問して、まず初めに驚いた事は日本との気候の違いでした。日本は、6月～8月の間、湿気が多く蒸し暑い気候です。しかし、トーランスは、湿気がなくカラッとした暑さでした。そしてカリフォルニアは今、気候変動からとみられる、水不足が続いております。

科学者たちは、最近カリフォルニアでクラゲのような海洋生物が海岸に座礁する理由として、異常気象が原因であり、この異常気象の被害にあっているのは、人間でなく、クラゲなどの海洋生物であると指摘しております。

私は、海洋生物の大量座礁をまだ目にした事はありませんが、カリフォルニアでは珍しいものではなく、3年～6年に一度発生しているそうです。

現在世界では、地球温暖化がおきており海洋生物を守るためには地球温暖化を防止する必要がありますが、アメリカでは、環境保全活動にもっと取り組む必要があると思いました。一例としてアメリカでは、ゴミの分別やエコバックを買い物の際に持つという習慣がないように見えました。

2つ目は、日焼け止め薬品です。

これは、仮説ですが、日焼け止めが海の生物たちに悪影響を与えているという事をご存じですか？日焼け止めに含まれる微小なナノ粒子が海洋生物の胚に被害を与えているという説が出ています。一部の日焼け止め薬品に使われている微小な金属によって、海洋生物の細胞が損傷を受けやすくなるそうです。科学物質が海洋生物にとって悪影響を与えるということになります。

日焼け止めが海洋生物に害を及ぼすのは、規模が大きなビーチだとありえるようで大規模海水浴場ほど、影響も大きくなるようです。

3つ目は、米海軍の実験や訓練です。

米海軍の訓練や実験によって発生する大音響が海に響き渡ると体内器官に気泡が生じたりするほどで、多数のクジラやイルカたちが、方向感覚を失い、体に傷を負い、脳内出血を起こしているようです。

このような3つの原因が海洋生物に悪影響を与えているといわれております。

クラゲだけでなく、海には多くの生物が生息しています。人間だけでなく生物が地球で健やかに生きることが大切だとこの事業に参加して考えました。



写真は、クラゲの一種・カツオノカンムリが米国西海岸のビーチに打ち上げられたもの